

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (1/7)

認定番号: 0276-2303, サービス名称: KIS MailMon(ケーアイエス メールモン), 事業者名称: KIS Security株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】		必須/選択	申請内容
1	開示情報の時点	開示情報の日付	開示情報の年月日(西暦)	必須	2023/3/10
- 事業所・事業					
2	事業所等の概要	事業者名	事業者の正式名称(商号)	必須	KIS Security株式会社
3		設立年・事業年数	事業者の設立年(西暦)	必須	2021
			設立後の事業年数(1年に満たない場合は月数)		1
4		事業所	事業者の本店住所・郵便番号	必須	東京都世田谷区尾山台 (〒158-0086)
	事業所数(国内、国外)		国内:1カ所		
	主な事業所の所在地		東京都		
5	事業の概要	主な事業の概要	事業者の主要な事業の概要 (ASP・SaaS以外も含む) <100字以内で記述>	必須	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータシステム、ソフトウェアの企画、開発、販売及び保守に関する業務 ・インターネットを利用した各種情報提供サービス、物品の販売に関する業務 ・情報処理関連事業の企画、コンサルティングに関する業務
- 人材					
6	経営者	代表者	代表者氏名	必須	稲田 清崇
			代表者写真	選択	
			代表者年齢		
			代表者経歴(学歴、業務履歴、資格等)		
7	役員	役員数	役員氏名及び役職名	選択	3名
					代表取締役 稲田 清崇 取締役 北本 雅也 取締役 崎山 秀文
8	従業員	従業員数	正社員数(単独ベース)	選択	
- 財務状況					
9	財務データ	売上高	事業者全体の売上高(単独ベース)(単位:円)	必須	設立後、立ち上がり時期のため売上は非公開とします。
10		経常利益	事業者全体の経常利益額(単独ベース)(単位:円)	選択	
11		資本金	事業者全体の資本金(単独ベース)(単位:円)	必須	9,000,000円
12		自己資本比率	事業者全体の自己資本の比率(単独ベース)(単位:%)	選択	
13		キャッシュフロー対有利子負債比率	事業者全体のキャッシュフロー対有利子負債比率(単独ベース)(単位:%)	選択	
14		インタレスト・カバレッジ・レシオ	事業者全体のインタレスト・カバレッジ・レシオ(単独ベース)(単位:%)	選択	
15		上場の有無	株式上場の有無と、上場の場合は市場名	選択	

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (2/7)

認定番号: 0276-2303, サービス名称: KIS MailMon(ケーアイエス メールモン), 事業者名称: KIS Security株式会社

【審査対象項目】			【記述内容】	必須/選択	申請内容	
16	財務信頼性	財務監査・財務データの状況	該当する財務監査・財務データの状況を、以下より選択する。 ①会計監査人による会計監査、②会計参与による監査、③中小企業会計によるチェックリストに基づく財務データ、④いずれでもない	選択		
17		決算公告	決算公告の実施の有無	選択		
- 資本関係・取引関係						
18	資本関係	株主構成	大株主の名称(上位5株主程度)、及び各々の株式保有比率	選択		
19	取引関係	大口取引先	大口取引先の名称	選択		
20		主要取引金融機関	主要取引金融機関の名称	選択	三井住友銀行、住信SBIネット銀行	
21		所属団体	所属している業界団体、経済団体等の名称	選択		
- コンプライアンス						
22	組織体制	コンプライアンス担当役員	コンプライアンス担当の役員氏名	選択		
23		専担の部署・会議体	コンプライアンスを担当する社内の部署・会議体の有無と、存在する場合は社内の部署名・会議名	選択		
24	書類類	情報セキュリティに関する規程等の整備	情報セキュリティに関する基本方針・規程・マニュアル等書類の名称	必須○	情報セキュリティ基本方針	
			上記の書類の経営陣による承認の有無		あり	
25		勧誘・販売に関する規程等の整備	勧誘・販売に関する基本方針・規程・マニュアル等の有無と、書類がある場合はそれらの書類名	選択		
			上記の書類の経営陣による承認の有無			
26		ASP・SaaSの苦情対応に関する規程等の整備	ASP・SaaSの苦情処理に関する基本方針・規程・マニュアル等の有無と、書類がある場合はそれらの書類名	必須	なし	
			上記の書類の経営陣による承認の有無		なし	
- サービス基本特性						
27		サービス名称	申請したASP・SaaSのサービス名称	必須	KIS MailMon(ケーアイエス メールモン)	
28		サービス開始時期	申請したASP・SaaSのサービス開始年月日(西暦)		必須	2022/6/1
			サービス開始から申請時までの間の大きなリニューアル等実施の有無と、行われた場合はリニューアル年月日(西暦)		必須	あり 2022/8 添付ファイルの追加 2022/9 ドメイン追加+自社ドメインから訓練メール送信機能 2022/10 ステータス記録開始秒数遅延機能の追加 2022/11 レポートの自動作成機能 2022/12 配信リストの項目追加
29	サービスの基本タイプ	アプリケーションサービス、ネットワーク基盤サービス、ASP基盤サービス、その他サービスの4つの中から該当タイプを選択	必須	アプリケーションサービス		

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (3/7)

認定番号: 0276-2303, サービス名称: KIS MailMon(ケーアイエス メールモン), 事業者名称: KIS Security株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
30	サービス内容	サービスの内容・範囲	必須	<p>KIS MailMonは、標的型攻撃メール訓練の訓練実施者視点で便利な機能を搭載したクラウドサービスです。IPAやフィッシング対策協議会に報告される内容を基にした最新の訓練シナリオも搭載し、訓練実施前や訓練実施後の相談や提案を含めた課題解決までサポートし、訓練実施者の負担を軽減します。KIS Securityは標的型攻撃メールサービスKIS MailMonを通じて、社員の意識改革を支援します。</p> <p>【特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> 協会や団体の注意喚起や流行りの攻撃メールを参考に訓練シナリオギャラリー(テンプレート集)を随時アップデートして訓練シナリオ(テンプレート)を提供します。訓練対象者リストの用意と配信スケジュールの設定で簡単に訓練が実施できます。 KIS MailMonのサポートだけでなく、訓練実施前の訓練メール受信状況確認・相談や訓練実施後の訓練結果データ分析支援までもサポートします。標的型攻撃メール対策の継続的な課題解決に向けて顧客伴走型の支援を行います。 訓練実施者に便利な機能を自社開発し搭載しています。訓練内容を自由にカスタマイズできる高機能かつ低価格で顧客満足度が高いサービスの提供が可能です。
		他の事業者との間でサービス連携を行っていることの有無と、ある場合はその内容 <前記述と合せて500字以内で記述>	なし	
31	サービスのカスタマイズ範囲	アプリケーションのカスタマイズの範囲(契約内容に依存する場合はその旨記述) <200字以内で記述>	必須	コンテンツのカスタマイズは、サービス範囲内で可能 アプリケーションのカスタマイズは、契約内容により可能
32	サービスの(事業)変更・終了時の事前告知	利用者への告知時期(事前の告知時期を1ヶ月前、3ヶ月前、6ヶ月前、12ヶ月前等の単位で記述)	必須○	少なくとも12ヶ月前
		告知方法		WEBサイトおよび契約者(利用者)へメール等でのご連絡
33	サービスの(事業)変更・終了後の対応・代替措置	対応・代替措置の基本方針の有無と、基本方針がある場合はその概略	必須	なし
		基本方針に沿った具体的なユーザへの対応策(代替サービスの紹介等)の有無と、対応策がある場合はその概略		なし
		契約終了時の情報資産(ユーザデータ等)の返却責任の有無		なし
34	サービスの(事業)変更・終了に係る問合せ先	問合せ先(通常の苦情等の問合せ窓口も含む)の有無と、問合せ先がある場合は名称・受付時間	必須○	ホームページの「問い合わせ」より受付 24時間受付
35	課金方法	従量部分の課金方法	必須	【メール送信数プラン】 メールの送信件数に応じて課金
		固定部分の課金方法		なし
36	サービス料金	初期費用額	必須	30,000円(税別)
		月額利用額		【メール送信数プラン】 100通 3ヶ月で36,000円(税別)~ 【メール送信数無制限プラン(年額プラン)】 100メールアドレス 年額で90,000円(税別)~
		最低利用契約期間		【メール送信数プラン】 3か月 【年額プラン】 1年間
37	解約時ペナルティ	解約時違約金(ユーザ側)の有無と、違約金がある場合はその額	必須	なし (サービス提供期間の残期間の利用料金は返金しない)

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (4/7)

認定番号: 0276-2303, サービス名称: KIS MailMon (ケーアイエス メールモン), 事業者名称: KIS Security株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
38		利用者からの解約事前受付期限 利用者からのサービス解約の受付期限の有無と、有りの場合はその期限(何日・何ヶ月前かを記述)	必須	あり 解約しようとする日の1か月前まで
39	サービス稼働設定値	サービス稼働率のこれまでの実績値、またはやむなき理由により実績値が記載できない場合はその理由と目標値	必須	99.93% (2022年6月1日-2023年2月28日)
		申請したサービスが該当する「情報セキュリティ対策ガイドライン」におけるサービス種別のパターン番号と稼働率の対策参照値		パターン番号 : 3 稼働率の対策参照値 : 95%以上
		サービス停止の事故歴		なし
40	サービスパフォーマンスの管理	機器、ソフトウェア等のシステム障害によるサービス応答速度の低下等の検知方法 (検知の場所、検知のインターバル、画面の表示チェック等の検知方法)	選択	
		サービス応答速度等のサービスパフォーマンスの正常性の把握方法 (検知の場所、検知のインターバル、画面の表示チェック等の把握方法)		
41	サービスパフォーマンスの増強	ネットワーク・機器等の増強判断基準あるいは計画の有無、判断基準や計画がある場合は増強の技術的措置(負荷分散対策、ネットワークルーティング、圧縮等)の概要	選択	
42	サービス品質 認証取得・監査実施	プライバシーマーク、ISMS(JIS Q 27001など)、ITSMS(JIS Q 20000-1など)の取得、18号監査(米ではSAS70)の監査報告書作成の有無、上記がある場合は認証名あるいは監査の名称	選択	
43	個人情報取扱い	個人情報を収集する際の利用目的の明示	必須	あり サービス利用規約に明示
44	脆弱性診断	診断の対象(アプリケーション、OS、ハードウェア等)	選択	対象: アプリケーションおよびライブラリー 使用するライブラリーの脆弱性のあるバージョンをチェックする
		診断の頻度、診断の結果から対策が必要となった部分に対する対応状況(対象ごとに)		プログラム作成、変更時にCheck
45	バックアップ対策	バックアップ実施インターバル	必須	Server全体バックアップは年4回(バージョンアップ時) DBおよび復旧に関係する情報は毎日実施
		世代バックアップ(何世代前までかを記述)	必須	Server全体バックアップは原則、4世代 DBはServer内7世代、外部保管1年、DB以外は外部保管1年
46	バックアップ管理	バックアップ確認のインターバル	選択	バックアップのリストアTESTは、年間2回実施
47	受賞・表彰歴	ASP・SaaSに関連する各種アワード等の受賞歴	選択	
48	SLA (サービスレベル・アグリーメント)	本審査基準に含まれる開示項目がSLAとして契約書に添付されるか否か	必須	あり サービス利用規約に明示
49	サービス利用量 利用者数	申請したASP・SaaSのサービスの利用者ライセンス数(同時接続ユーザ数か、実ユーザ数かも明示)	選択	サービス開始後5か月(2023年2月現在) 約50社程度 許諾いただきました一部の企業・教育機関様はホームページにて紹介しております。
50	サービス利用量 代理店数	申請したASP・SaaSのサービスの取扱い代理店数	選択	
- アプリケーション、プラットフォーム、サーバ・ストレージ等				
		主要ソフトウェアの名称	必須	KIS MailMon (ケーアイエス メールモン)

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (5/7)

認定番号: 0276-2303, サービス名称: KIS MailMon(ケーアイエス メールモン), 事業者名称: KIS Security株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
51	内容	サービスを実現する主要ソフトウェア	必須	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練シナリオギャラリー(テンプレート集)からのインポート ・メール本文の作成、変更 ・リンク先画面の作成、変更 ・送信元設定の作成、変更 ・訓練対象者へメール送信 ・訓練対象者のステータスの記録 ・訓練中および終了後のステータスデータのダウンロード(csv) ・訓練中および終了後のレポートの自動作成(xlsx)
52		主要ソフトウェアの提供事業者	必須	KIS Security株式会社
53	連携・拡張性	他システム等との連携方法	選択	
		標準的なAPI等を他システム等連携のために使用している場合、そのAPI等の名称		
54	セキュリティ	死活監視(ソフトウェア、機器)	必須○	MonitによるAPの稼働監視 ※IaaSに関してはGMOグループ(お名前.com)のVPSサービスによる
		障害時の利用者への通知時間		2時間以内を目標とする
55		障害監視(ソフトウェア、機器)	必須	MonitによるAPの稼働監視 ※IaaSに関してはGMOグループ(お名前.com)のVPSサービスによる
56		時刻同期	必須	NTPでの同期
57		ウイルスチェック	必須○	IaaSにアクセスを行う端末に関してはウイルス対策ソフトをすべて導入 パターンファイルは基本端末立ち上げ時にCheck、またはベンダーからの通知時に実施
58		記録(ログ等)	必須○	サービスで利用者がログインしたのち、ログアウトするまでの間に利用者の操作ログを取得 上記保存期間は1年間
59	セキュリティパッチ管理	必須○	通常バージョンアップ時に実施 ただし、弊社サービスに大きな影響のある問題解決に必須と判断した場合は、緊急メンテナンスを実施する場合もある	
- ネットワーク				
60	回線	推奨回線	必須	インターネット回線
		ユーザ接続回線について、ASP・SaaS事業者が負う責任範囲	必須	利用者とデータセンター間の接続回路は責任は負わない
61		推奨帯域	必須	なし
62	推奨端末	必須	本サービスを利用するために必要な環境は以下となります。 【訓練実施者】 インターネットへ接続できるパソコン、ブラウザでご利用できます。 <推奨環境> OS : Windows10以降 ブラウザ : Microsoft Edge / Google Chrome 各ブラウザの最新版に対応しています。 【訓練対象者】 パソコンおよびスマートフォンでメールが受け取れる環境が必要です。	
	利用するブラウザの種類	必須	【訓練実施者】 <推奨環境> Microsoft Edge・Google Chrome	

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (6/7)

認定番号: 0276-2303, サービス名称: KIS MailMon(ケーアイエス メールモン), 事業者名称: KIS Security株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容	
63	セキュリティ	ファイアウォール設置等	ファイアウォール設置等の不正アクセスを防止する措置の有無	必須○	IaaSが提供するパケットフィルタリングの機能と当社サービスが稼働しているOSのFirewall機能を使用している
64		不正侵入検知	不正パケット、非権限者による不正なサーバ侵入に対する検知の有無	必須	IDS(ソフトタイプ)を使用して監視、アラートでの通知を実施
65		ネットワーク監視	事業者とエンドユーザとの間のネットワーク(専用線等)において障害が発生した際の通報時間	選択	インターネットを使用しているため特に通知はしない
66		ID・パスワードの運用管理	IDやパスワードの運用管理方法の規程の有無	必須○	あり
67		ユーザ認証	ユーザ(利用者)のアクセスを管理するための認証方法、特定の場所及び装置からの接続を認証する方法等	必須○	利用者が弊社サービスを利用する場合、IDおよびパスワードでの認証、ID+ワンタイムパスワードでの認証の2種類を選択可能。ワンタイムパスワードの利用を推奨。 ログイン後利用者情報として登録されているメールアドレスにログイン通知メールを配信 2023年4月14日搭載
68		管理者認証	サーバ運用側(サービス提供側)の管理者権限の登録・登録削除の正式な手順の有無	必須○	あり
69		なりすまし対策(事業者サイド)	第三者による自社を装ったなりすましに関する対策の実施の有無と、対策がある場合は認証の方法	必須	ワンタイムパスワードを使用した認証方式 2023年4月14日搭載
70		その他セキュリティ対策	その他特筆すべきセキュリティ対策を記述(情報漏洩対策、データの暗号化等)	選択	利用者との通信についてはSSL暗号化を実施 Data Diskについては、暗号化の実施予定
- ハウジング(サーバ設置場所)					
71	施設建築物	建物形態	データセンター専用建物か否か	必須	国内の大手データセンター(専用)
72		所在地	国名、(日本の場合は地域ブロック名(例:関東、東北))	必須	日本 (地域ブロック名は、公表されていないため特定できません)
73		耐震・免震構造	耐震数値		必須
	免震構造や制震構造の有無			GMOグループ(お名前.com)を利用しているが、当該項目に関する情報が非公開のため内容を特定することができない。	
74	非常用電源設備	無停電電源	無停電電源装置(UPS)の有無と、UPSがある場合は電力供給時間	必須	GMOグループ(お名前.com)を利用しているが、当該項目に関する情報が非公開のため内容を特定することができない。
75		給電ルート	別の変電所を経由した給電ルート(系統)で2ルート以上が確保されているか否か(自家発電機、UPSを除く)	必須	GMOグループ(お名前.com)を利用しているが、当該項目に関する情報が非公開のため内容を特定することができない。
76		非常用電源	非常用電源(自家発電機)の有無と、非常用電源がある場合は連続稼働時間の数値	必須	あり 防火・防災、停電対策を完備
77	消火設備	サーバールーム内消火設備	自動消火設備の有無と、ある場合はガス系消火設備か否か	必須	あり 防火・防災、停電対策を完備
78		火災感知・報知システム	火災検知システムの有無	必須	GMOグループ(お名前.com)を利用しているが、当該項目に関する情報が非公開のため内容を特定することができない。
79	避雷対策設備	直撃雷対策	直撃雷対策の有無	必須	GMOグループ(お名前.com)を利用しているが、当該項目に関する情報が非公開のため内容を特定することができない。
80		誘導雷対策	誘導雷対策の有無と、対策がある場合は最大対応電圧の数値	必須	GMOグループ(お名前.com)を利用しているが、当該項目に関する情報が非公開のため内容を特定することができない。
81	空調設備	十分な空調設備	空調設備(床吹き上げ空調、コンピュータ専用個別空調等)の内容	選択	GMOグループ(お名前.com)を利用しているが、当該項目に関する情報が非公開のため内容を特定することができない。

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (7/7)

認定番号: 0276-2303, サービス名称: KIS MailMon(ケーアイエス メールモン), 事業者名称: KIS Security株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
82	セキュリティ	入退館管理等	必須	あり データセンターへの入退室時の認証
				あり 監視カメラによる常時監視システム
				GMOグループ(お名前.com)を利用しているが、当該項目に関する情報が非公開のため内容を特定することができない。
83	媒体の保管	紙、磁気テープ、光メディア等の媒体の保管のための鍵付きキャビネットの有無	必須	GMOグループ(お名前.com)を利用しているが、当該項目に関する情報が非公開のため内容を特定することができない。
		保管管理手順書の有無		GMOグループ(お名前.com)を利用しているが、当該項目に関する情報が非公開のため内容を特定することができない。
84	その他セキュリティ対策	その他特筆すべきセキュリティ対策を記述(破壊侵入防止対策、防犯監視対策等)	選択	GMOグループ(お名前.com)を利用しているが、当該項目に関する情報が非公開のため内容を特定することができない。
- サービスサポート				
85	サービス窓口(苦情受付)	連絡先	必須○	サポートセンター 問合せ先 : https://www.kis-sec.co.jp/contact メールアドレス: support@kis-sec.co.jp
				なし
86	営業日・時間	営業曜日、営業時間(受付時間)	必須	平日9:30~17:30 土日祝祭日、年末年始、弊社指定休日を除く
		メンテナンス実施時間		サポート窓口のメンテナンスはありません
87	サポート対応	サービスサポートの稼働率の実績値(単位:%)	選択	
		放棄率の実績値(単位:%)		
		応答時間遵守率の実績値(単位:%)		
		基準時間完了率の実績値(単位:%)		
88	サポート範囲・手段	サポート範囲	必須	サービスの利用方法、操作方法、障害などのトラブル対応
		サポート手段(電話、電子メールの返信等)		電子メールの返信、電話
89	サービス保証・継続	サービスダウンしない仕組み	必須	本番環境に加えステージング環境を用意 本番環境に問題があった場合、ステージング環境にて一時的にサービスを継続
90		事故発生時の責任と補償範囲	必須	あり サービス利用規約に明示
91	サービス通知・報告	メンテナンス等の一時的サービス停止時の事前告知	必須○	メンテナンス日の1カ月前
				WEBサイトおよび契約者へメール
				あり
92		障害・災害発生時の通知	必須○	あり
93		定期報告	必須	なし

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。